



けやきっ子

六栄小学校だより

最終号

令和7年3月21日

文責：久保田 眞二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

1年間お世話になりました 心から感謝申し上げます

本日、無事に令和6年度六栄小学校修了式を終えることができました。残すは、3月24日(月)の卒業式のみとなりました。この1年間を通して、子どもたちはたくさんのことを学び、そして成長してきました。

新しい漢字が書けるようになった、かけ算九九が言えるようになった、跳び箱が6段跳べた、身体が3cm伸びた等、はつきりと目に見える成長もありますが、そうでない成長もあります。それは「心の成長」です。困っている友達に寄り添う思いやり、何事にも前向きに取り組むやる気、苦手なことでもあきらめずに取り組む粘り強さ、周りの人と協力しながら目標に向かう協調性、自分の欲望や感情をコントロールする自制心などです。心身ともに本当に成長したことを実感します。

それぞれに成長した子どもたちを見ると本当に嬉しく思います。しかし、子どもは、時間がたてば勝手に成長するものではなく、子どもへの適切な指導や支援があつてからこそ成長するものです。学校だけでなく、保護者や地域の皆さまのご理解とご協力があつたからこそ、子どもたちが成長できたものと思います。本当にありがとうございました。

時代の変化と共に、学校はたくさんの課題を抱えており、学校だけで子どもたちを教育することは限界が来ています。今後も、学校、保護者、地域が互いに手を取り、連携しながら子どもたちの教育に携わっていかれたらと思います。この1年間、本当にありがとうございました。心から感謝するとともに、今後もよろしくお願いします。

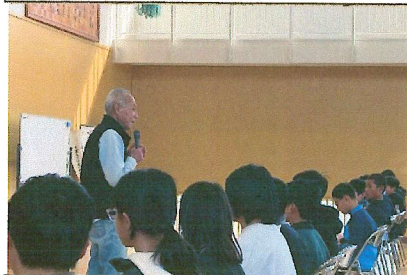
バトンを引き継ぐ・受け取る

3月17日(月)の1時間目、運動場で5・6年生が合同体育をしていました。何をしているのか見てみると、6年生が運動会で披露した演舞を5年生に教えていたのです。また、同日の5・6時間目には卒業式予行練習が行われました。6年生が卒業証書を受け取ったり、お別れの言葉を伝えたりする姿を真剣に見つめる4・5年生の子どもたち。卒業を前に、6年生がバトンを引き継ごうとする姿、そして、バトンをしっかり受け取ろうとする4・5年生の姿を見て心から嬉しくなりました。

さて、卒業式予行練習の様子を、前長洲町教育長の戸越先生に見ていただきました。戸越先生からは、予行練習で頑張っている6年生の立派な姿と、4・5年生の子ども達の頑張りを褒めていただきました。戸越先生は昨年9月から六栄小学校の環境整備を行っていただいていたのですが、お礼を伝えられないままでした。予行練習最後に、子どもたちが戸越先生に「ありがとうございました」のお礼を伝えられたことも嬉しく思いました。さあ、3月24日(月)は卒業式です。卒業式で、6年生が最後のバトンを引き継いでくれるのを楽しみにしています。



6年生の演舞の引継ぎの様子



戸越先生の話を真剣に聞く子どもたち

子どもの見守りをお願いします

3月25日から4月10日まで春休みになります。春休みになると進級の喜びを感じる子どももいますが、一方では、新しい環境(進級、友達や担任が変わる等)に不安をもつ子どもたちもいます。また、交通事故にあつたり、SNSトラブルに巻き込まれたり、子どもたちの命が危険にさらされる可能性が高くなります。子どもたちが安心安全に過ごせますよう、家庭や地域において、子どもたちの見守りをお願いします。危ないことや人に迷惑をかけるような時は、大人がきちんと指導していきましょう。4月になって子どもたちが期待に胸を膨らませて登校できますようよろしくお願いします。何かあれば遠慮せず学校にご相談ください。

最終号に寄せて

学校の様子をたくさんの保護者・地域の皆様に知っていただきたいという願いから学校だよりを発行してきました。文字ばかりで読みづらかつたり、恩着せがましい文章だったりしたこともあったと思います。今後、子どもたちを取り巻く環境は益々変化していきます。六栄小の子どもたちのためにも少しでも学校に関心を持っていたき、何かしらのアクションを起こしていただければ幸いです。1年間ありがとうございました。